

疾病学 1

1 単位 (選択) 4 年 (前期)

Internal Medicine 1

藤中 雄一・講師/病院, 栗飯原 賢一・講師/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 遠藤 逸朗・助教/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
 竹内 恭子・助教/病院, 浅沼 光太郎・講師/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 佐藤 健太・助教/病院, 松井 尚子・講師/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
 和泉 唯信・診療支援医師

【授業目的】血液学, 神経学, 内分泌代謝学を総論と各論にわけて教授する。目標はそれぞれの分野の基本的知識の修得である。

【授業概要】血液学に関する総論を学び, 赤血球, 白血球, 血小板, 血液凝固の異常と病体について学ぶ。次に神経症候群, 中枢並びに末梢神経疾患, 筋疾患, 糖尿病, 通風, 甲状腺疾患, 副腎疾患等について学ぶ。

【授業形式】講義

【履修上の注意】本講義は歯学部との合同講義です。

【到達目標】

1. 血液学

- 1) 血液学について概説できる。
- 2) 赤血球の異常とそれに伴う疾患について説明できる。
- 3) 白血球の異常とそれに伴う疾患について説明できる。
- 4) 血小板の異常とそれに伴う疾患について説明できる。
- 5) 血液凝固の異常とそれに伴う疾患について説明できる。

2. 神経症候学

- 1) 神経症候学について概説できる。
- 2) 中枢神経疾患について説明できる。
- 3) 末梢神経疾患について説明できる。
- 4) 筋疾患について説明できる。

3. 内分泌代謝学

- 1) 糖尿病について説明できる。
- 2) 高脂血症, 痛風について説明できる。
- 3) 視床下部下垂体について概説でき, その異常による疾患について説明できる。
- 4) 甲状腺, 副甲状腺疾患について説明できる。
- 5) 副腎疾患について説明できる。

【授業計画】

1. 血液学総論 (竹内)
2. 赤血球の異常 (竹内)
3. 白血球の異常 (竹内)

4. 血小板の異常 (竹内)
5. 血液凝固の異常 (竹内)
6. 神経学総論 (和泉)
7. 神経症候学 (浅沼)
8. 中枢神経疾患 (和泉)
9. 末梢神経疾患 (佐藤)
10. 筋疾患 (松井)
11. 糖尿病 (栗飯原)
12. 高脂血症, 痛風 (栗飯原)
13. 視床下部下垂体 (藤中)
14. 甲状腺, 副甲状腺疾患 (遠藤)
15. 副腎疾患 (遠藤)

【成績評価】評価は筆記試験により行う。100点満点で60点以上のものを合格とする。

【再試験】実施する。

【教科書】

- ◇ 参考書: 「標準血液病学」池田康夫/押味和夫編 医学書院
- ◇ 参考書: 「臨床神経内科学」平山恵造編 南山堂
- ◇ 参考書: NIM 「内分泌・代謝病学」第4版 井村裕夫編 医学書院
- ◇ 参考書: 「歯科のための内科学」第2版 井田和徳/堂前尚規編 南江堂

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217194>